

上厚真

放課後児童クラブだより

～たくさんの思い出がつまった夏休み～

9月号



今回の放課後児童クラブだよりでは、夏休み中の行事について特集を組んで紹介しようと思います。

## 大盛況だった夏祭り！

7月31日(金)に上厚真放課後児童クラブの夏祭りを実施しました。この日に向けて、『何をやるのか』『どんな飾りつけが必要か』『食べ物は何を作ろうか』など、子どもたちが一生懸命考えて準備をしてきたこのイベント。当日の朝、会場を見てみると、体育館には色とりどりの装飾や手作りのポスター、ユニークなアイデアが詰まったお店の屋台が並んでいました。担当している子どもたちは朝から会場の準備をしたり、射的や輪投げの最終調整をしたりと意気込んでいる様子も…。

今年度の夏祭りは『子どもたちがゼロから作る夏祭り』というテーマで企画から運営まですべて子どもだけでやりました。『おかしのかみどり』『金魚すくい、スーパーボールすくい』『射的』『輪投げ』『お化け屋敷』などの



他に、寿司屋、フライドポテト、枝豆、綿あめなどたくさんの食べ物の屋台が並び、それぞれの担当に分かれて、お店当番をやりながら、楽しみました。

今年の夏祭りで人気があったのは、初めての試みである『お化け屋敷』でした。活動室を改造して作り上げたお化け屋敷は、行列ができるほどの人気で、「怖かったー!」「おもしろかった、もう一回入りたい!」という感想をたくさん聞くことができました。クオリティの高いお化け屋敷に子どもたちも大満足の様子でした。

個人的に感動したのは『寿司屋』です。最初は、「寿司屋って何が出てくるのかな?」と思っていたのですが、唐揚げやつくね、ハンバーグにベーコンなどを酢飯に巻いて提供しました。子どもたちからも「おいしい!おかわりしたい!」という声があがり、寿司屋さんは大忙しでした。

夏祭り当日まで一生懸命準備を進めてきた子どもたちは、また一つ成長できたと思います。初めての取組で戸惑いや不安もありましたが、思い出に残る1日になったと思います。来年の夏祭りはどうなるのか…今からとても楽しみです。



楽しい思い出をありがとう!



## たくさん笑った人形劇

8月1日(水)には、札幌から人形劇団ブランコさんをお招きして、腹話術と人形劇を観覧しました。今回は、バスに乗って厚真児童会館へ行き、厚真放課後児童クラブの子どもたちと合同で実施し、約80名が参加するイベントになりました。

今回は、腹話術『あっちゃんとおそぼう』と人形劇『山姥と小僧さん』という2つの演目を楽しみました。腹話術『あっちゃんとおそぼう』では、人形との掛け合いが絶妙で、会場は笑いの渦に包まれました。おなかを抱えて笑う子や笑いすぎて涙を流す子もいて、職人の技を楽しみました。

その後は、人形劇『山姥と小僧さん』を観覧しました。このお話は、和尚さんと小僧さんと山姥のお話で、悪いことをした小僧さんが山姥に追い掛け回されてしまうというお話です。(※詳しくは書けませんが…)いろいろな大きさの人形が登場したり、効果音や照明などが場面ごとに切り替わったり、本格的な人形劇に子どもたちは真剣な表情で見入っていました。なかなか見ることのできないプロの技に感動した1日になりました。



## 低学年料理教室をやりました！

8月9日(木)には、総合ケアセンターゆくりで1、2、3年生を対象にした料理教室を実施しました。今回も厚真町食生活改善推進協議会の皆さんの協力のもと、ナン、キーマカレー、スイカのフルーツポンチを作りました。普段はなかなか作ることのないナンですが、みんなで一生懸命小麦粉をこねて焼き上げ、ふっくらおいしく完成しました。自分たちで作った料理はより一層おいしく感じるようで、みんなお腹いっぱいになるまで食べました。ここでの経験を生かして、ご家庭でも積極的に料理を手伝ってほしいと思います。



厚真町食生活改善推進協議会の皆さん、ありがとうございました！

## 9月の行事予定

9月21日(金) 誕生会

※5年生の野外学習に伴い、7日(金)は回復休になります。その際、放課後児童クラブを利用するかどうかを支援員から直接確認させていただきます。

★保護者の皆さんへ★

雨天時の着替えの用意を再度確認してください！

## けんちゃんのつぶやき～達成感を感じる体験～

長いようで短かった夏休みが終わりました。ぼくの中で『夏祭り』はとても思い出に残っています。夏祭りを作り上げる過程で、**達成感を得た子どもたち**もいることと思います。『自分の手でゼロから作り上げる』という体験は、なかなかできるものではありません。この体験をとおして、『主体性』を身に付け、『なにもないところから楽しさや喜びを作り出せる子ども』になってほしいなと願う、今日のけんちゃんなのでした。